

第4章 理念と将来像

さまざまな連携によって、流域の健全な水循環を未来に継承していくために、私たち一人ひとりが、水に対するかかわり方や取組みの姿勢を示す理念を共有し、できることから実践していきます。

理 念

水にふれ、水に学び、水とともに生きる

～連携による、流域の健全な水循環の継承～

理念は、人が水から遠ざかってきた反省から、身近な水辺で実際に水にふれ、五感で感じる体験を通して、水が、「生命を支えていること」、「人の暮らしに不可欠であること」、「時には人の生活や命を脅かすこと」及び「いにしえから流域の人々の営みを映し出すものであること」を学びながら水と共生していくことを表しています。

また、先人が水に対して感謝の気持ちを持って大切に守り育ててきた素晴らしい水環境が未来の世代へ引き継がれている姿を21世紀半ばの本県の将来像として、全県に加え、中通り、会津、浜通りの3地方ごとに設定します。

将来像は、健全な水循環をイメージしたものです。

将来像

清らかな水が巡り、多様な生きものを育む緑豊かな水辺に 子どもも大人も遊ぶ源流県・ふくしま

県土で生まれた水が、大地を巡りまちを潤して流れ、多様な生きものや植物などの命を育む水辺を形成し、その水辺には子どもも大人も水の恵みを感じながら、その風景にたたずみ、水と戯れる歓声が聞こえる。

中通り

甲子高原や八溝山など、いくつもの源流の水が、まちの営み の中で大切に使われ清らかに流れる流域

中通り地方は人口が集中して人や企業の様々な活動が展開されており、そうした人間社会の営みの中で、水が大切に使われ、その影響を最小限にとどめ、清らかに流れている。

会津

奥会津や飯豊、磐梯などの山々から湧き出た水が、 くらしの中に息づく山紫水明の流域

会津地方は湧水など豊かな水に恵まれており、その水が人と人、家と家とをつなぎ合わせ、様々な形でくらしの中に生かされて流れ、水源である背景の山々と一体となった風景を形づくっている。

浜通り

阿武隈高地の森から生まれる川にサケやアユが遡上する、 森・川・海のつながりが見える流域

浜通り地方は海に面しており、地域の川が森林と海とをつないでいる様子が、遡上したサケやアユを見ることで、森も川も里も街も海も一体となった健全な水循環として身近に実感できる。